

コロナ発生直後 2020年5月の 米国4合唱団体の共同提言

既に3年前になりますが、米国合唱界では主要な4団体によるウェビナー(オンラインセミナー)が、コロナ禍発生直後の2020年5月5日に開かれ、同年6月に提言としてまとめています。その後、同じようなセミナーを開いたという報告は今のところ見当たりません。やや古い情報ですが、米国の合唱活動の基本姿勢を垣間見ることができると思います。

参加したのは、米国歌唱指導者協会NATS、コーラス・アメリカChorus America、米国合唱指揮者協会 ACDA、バーバーショップハーモニー協会BHSでした。

バーバーショップハーモニー協会に掲載されているウェビナーの要約は下記でご覧になれます。

ウェビナーノート：科学と歌の短期的な未来
「短距離走ではなくマラソン」：科学者と芸術管理者のパネリストが、一緒に歌うことの意味を私たちが知る必要があることについて考えています。

<https://www.barbershop.org/covid-webinar-summary>

共同提言は以下の項目からなっています。

1. コロナウイルスとの闘いは短距離走ではなくマラソン
2. メンバーの安全性を最優先
3. 歌い手はスーパー・スプレッダーとみなされている
4. 新型コロナウイルスは発症前に最も感染力が強い
5. 医療用マスク以外に安全なものは今のところない
6. 合唱の練習会場での検査には多くの問題点がある
7. メンバーは状況が許せば合唱に戻ってくる意思があるか
8. 州をまたいで移動する歌手たち
9. 通常活動に戻ることを考えるより、合唱団は自らを守り、緊急事態への対応について検討すべき
10. 今後わたしたちはどこに向かうのか？

詳細は別の機会に述べることにして、ここでは省きますが、以下にいくつかのポイントを上げます。

- ◎ 専門家の調査と意見と楽観主義とのバランスを取り、新たな決意を固める必要がある。変えられるものは変え、変えられないものは受け入れて、変えられるものに良いものを見つける必要がある。
- ◎ 合唱は、単に話すことよりもはるかに高い割合で感染粒子を空気中に放出します。これが、1回の練習で合唱団全体

が感染してしまう原因です。「多くの深刻な感染は教会、練習室、ホールで発生しました」。6フィート(約1.8m)の距離を保っていても、歌うことでそれは意味がなくなり、部屋中がウイルス粒子で埋め尽くされます。

- ◎ 医療用N95マスクは可能性がありそうですが、それでも現実的な解決策ではありません。理由は以下の通りです。
 - ・マスクの効果を得るためには適切な「フィットテスト」が必要です。
 - ・医療関係者ですら十分量のN95マスクを入手できておらず、合唱団が必要な量確保できることはなさそうです。
 - ・歌唱中にN95マスクをするのは酸素の吸入を妨げるので危険です。N95マスクはCO₂を内側に閉じ込め、長い間使うのには適していません。
 - ・多くの医療関係者は、ただ話しているだけですが、N95マスク装着後数時間で頭がクラクラしたり、頭痛がすると訴えています。

今の米国合唱界は…

米国の日本人合唱指揮者に聞く

米国では3年前と現在とではどう変わってきているのか、『おんがく広場』の江川善裕委員が、米国在住(元・現)の日本人合唱指揮者お二人にインタビュー(2021年12月下旬)しました。

堤 美保子さん：マスク着用推奨も普及せず

—現時点でコロナ禍における日本と海外の合唱活動の状況・環境があまりにも異なっているので調べています。現在の米国における音楽活動(特に合唱)の現状について教えてください。全日本合唱連盟のようなガイドラインはありますか？国や州の規制あるいは新型コロナ拡大防止策によって行なっているのでしょうか？

堤：現在米国ではトリプルデミックといって、新型コロナ、インフルエンザ、RSV(乳幼児に多い呼吸器感染症)の3種の感染症が流行しており、公共の場でのマスク着用が推奨されています。↓

You really should mask up again, says infectious disease expert: The tripledemic is hitting 'too fast and too furious'

感染症の専門家は「本当に再びマスクをするべきだ」と言っています。トリプルデミックは「速すぎて怒り狂っている」

<https://www.cnbc.com/2022/12/22/covid-flu-rsv-tripledemic-means-masking-up-again-says-virus-expert.html>

また、来年の米国合唱指揮者協会全国大会もマスクに関しては様子を見ているようですね。↓

ACDA 全国会議 COVID-19 ガイダンス
<https://acda.org/acda-national-conference-covid-19-guidance>

クリスマスコンサートの様子を見ると、ほとんどの人はマスクをしていませんが、中にはしている人も若干いるといった感じです。大学のキャンパス内も同様で、強制はされていないので、マスクをしたい人だけしているといった状況のようです。

——**結局、専門家はマスクを場所に依りて着用するようにと促しているけれど、実際に着用しているのは20数%で、全米合唱指揮者協会は全国大会の開催地の意向を尊重するとは書いてあるものの、いまのところ何も規制がないということですね？ 米国は新型コロナに対して、はじめはとても慎重だったと記憶しています。合唱活動の現場（練習・コンサート）の現状がわかるものがあったら教えてください。**

堤：私が2022年6月にアメリカに帰った時は、規制がすべて撤廃されていました。合唱を指導しましたが、35人中マスクをしているのは1人が2人だけでした。特に隣の人との距離をとることもなかったです。ただ冬になって感染者が急増してきたので、公共の場所ではマスク着用を推奨するという風になってきました。次のビデオは私がフロリダにいた時に勤めていた教会の合唱団のクリスマスコンサートの様子です。12月中旬に行われましたが、マスクをしているのは80代の女性と男性の2人で、年齢層は全体に比較的高いですがほとんどの人はマスクをしていません。隣の人との距離もとっていません。米国全体でも今はこのような状況だと思います。↓

Trinity United Methodist Church - Gainesville, FL
三位一体統一メソジスト協会クリスマスコンサート
<https://www.facebook.com/TrinityGNV/videos/623884489489567>

——**ありがとうございます！ 教会のコンサート動画を拝見しました。コミュニティーの様子がとてもよくわかりました。この動画の中、合唱団員でマスクをしていたのが2名、観客は誰もしていないように見えました。**

堤：次のビデオは私が去年まで勤めていたNY州の大学のコンサートです。11月28日に撮影されています。こちらでも学生が数人マスクをしているだけで、観客は誰もしていませんね。↓

Magnificat | My Soul Doth Magnify
讃歌 | Dothが拡大する私の魂
<https://www.youtube.com/watch?v=GFQp948hni0>

——いろいろと情報をありがとうございました。

市川 恭道さん：西海岸もほとんどマスクなし

——日本にはガイドラインがあり、舞台上で歌手は1m以

上間隔を空けるとか、マスクを付ける・付けない、ということになっています。最近ではマスクを外した演奏が多くはなりませんが、客席は相変わらずマスク着用が原則です。

そこで、西海岸ではどのようにしているか教えて頂けませんか？ 州や市の新型コロナ感染拡大防止の規制がどうなっているかも教えて頂ければありがたいです。

市川：参考になるかどうかわかりませんが、西海岸に関わらず米国ではプロの歌手はコンサートではマスクをしません。楽器奏者と観客もどちらかを選択できます。一般的にもマスクは完全にオプション扱い(選択が自由)ですね。全米でみてもマスク必須という場所はほぼなくなっていると思います。

労働組合絡みの仕事はほぼ必ず練習・本番前に検査結果の証明が必要です。カリフォルニア州では検査は大概無料、薬局で1ヶ月に8個まで無料でもらえる制度があります。米国人の感覚としては、一般的に、新型コロナウィルスはインフルエンザ程度との認識に変わってきています。

教会ごと合唱団が消滅？！

——**コミュニティーの合唱団や教会の聖歌隊はどんな感じですか？ 日本の合唱団は団員数が少なくなりましたばかりでなく、活動が止まってしまった合唱団もあります。**

市川：コミュニティー合唱団も誓約書にサインが必要ですが、マスク無しがほとんどです。ただオプション扱いなのでマスクをしている人もいてバラバラですね。常勤シンガーは大概マスク無しです。教会は最初にクラスターを出しましたが、年齢層が高いこともあり、その対応はバラバラですね。ボランティアは大概マスクはオプション扱い、そもそも参加を促すのがタブーなので団員数の低下は目に見えてあります。

うちの教会は今のところプロのカルテットに収まっています。そういうところも多いですね。合唱団を金銭的にも支えてきた高齢者たちが2年間のブランク後に戻ってこないケースはかなりあります。プロの数が減っているわけでは無いので、ある程度大きくてうまい合唱団は残っています。小さな合唱団が無くなってしまった話はよく聞きますね。聖歌隊は教会ごと無くなるケースが多いです。

——**教会ごと無くなるって、一種の社会問題ですね。2020-21年の間に出てきた問題ということですね。**

市川：最近あまりニュースにはされてない気がします。一番言われたのは2021年の夏頃じゃないかと思います。2020年はコロナ後の巻き戻しで仕事の量が増えています、2021年前半の結果を見て運営サイド、観客ともに「GOサイン」が出たという暗黙の了解があったように思います。

——**ありがとうございました。
また新しい情報があったら教えてください。**



〔プロフィール〕

堤 美保子 *TSUTSUMI Mihoko*

大阪音楽大学声楽科卒業。
関西二期会オペラスタジオ
研修生終了。京都市立堀川
高校音楽科非常勤講師を経
て、1989年から2年間カナ
ダのマギル大学で英語と
声楽を学ぶ。2000年に米
国移住。ジョージア州立コロ
ンバス大学大学院音楽教育
修士課程修了。2004年フロ
リダ州立大学大学院合唱指
揮修士課程、2007年音楽教
育／合唱指揮博士課程修了。
フロリダ大学女声合唱団・男
声合唱団、トリニティー教会
合唱団とオーケストラを指
揮。



2013年ニューヨーク州立大学
オスウェーゴ校の教員にな
って女声合唱団、男声合唱
団、ユース合唱団などを指
揮。2022年8月同大学准
教授を退職。現在、東京国
際合唱機構理事、浜大津
カルチャー倶楽部講師。

<https://www.facebook.com/mihoko.tsutsumi.5>

市川 恭道 *ICHIKAWA Yasumichi*



関西学院大学卒業。在学
中はグリークラブに所属。
2008年渡米。フラートン
大学声楽科卒業、アズサパ
シフィック大学大学院声楽科
・指揮科修了。マスターズ・
オブ・ハーモニーとウェスト
ミンスター合唱団に所属し、
2008年、2010年、2019
年とバーバーショップ国際
大会で優勝。

現在、ウェストウッドヒルズ
会衆派教会音楽主事、ウェ
ストミンスター合唱団代理
指揮者、L.A.メンズ・グ
リークラブ指揮者。全米合
唱指揮者協会（ACDA）、
コーラス・アメリカ、バー
バーショップ・ハーモニー
・ソサエティ（BHS）会
員。

第6回JCAユースクワイア
（埼玉）でアシスタント・
コンダクターを務めた。

第6回JCAユースクワイア
（埼玉）でアシスタント・
コンダクターを務めた。

<https://www.facebook.com/yasumichi.ichikawa>

クッキー会編集メンバー



これでも編集会議…(^_^)

江川善裕 加藤良一 星野英明



新祖 章

南めぐみ

『おんがく広場』はホームページ〔シュンボシオン〕、facebook〔ポストコロナの合唱活動を考えよう〕、〔集まれ合唱！〕、〔加藤良一〕、〔男声合唱プロジェクトYARO会〕及びTwitterで公開しています。